



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第24号 2010年 7月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
U R L : <http://dreamer-service.org>
E-mail : npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

道を極める



理事長 山口 浩志

サッカーW杯で世界中がにぎわっていました。日本でも今回の岡田ジャパンの采配やチームづくりに話題が絶えませんでした。

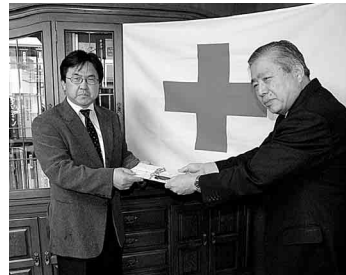
あるスポーツ関係の評論家が、「勝負の世界では情報量が3割しかない段階で瞬時に決断しなければならぬ」と言われていました。5割になるのを待っていたら出遅れてしまうくらいのスピードが要求されるそうです。

私たちも看護や介護の仕事をしていると重篤な病気と闘っている利用者さんたちとかわる場面がよくありますが、どんな時でも「安心できるケア」が提供できるためには、予期せぬ緊急事態に3割の情報量の中でも適切に対応していかなければならないことがあるし、そのためには常々からの鍛錬が求められます。

元日本将棋連盟会長の原田泰夫8段は、「初心者には終盤で考え込み、中級者は中盤で終盤を有利にするための戦略を練る。本物のプロは序盤の駒組（企画・方針）の段階を重要視する。」が持論であるとのことでした。

三つの誓い

- 一、物事の本質をとらえて 誠を尽くします
- 一、困難なことにも挑戦し 道を拓きます
- 一、おもしろおかしく 仕事を楽しみます



日本赤十字社徳島県支部へ寄付
(平成22年3月15日)

道を極めたアスリートや勝負の道に生きる人たちの言葉から、看護・介護を志す私たちにとって、考えていくべきヒントがたくさん込められているようです。

NPO 活動 協力会員さん 募集中



協力会員 名賀石真理さんより

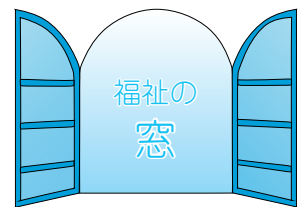
【合言葉】

「困った時はお互いさま」

子育てしながら合間の時間で社会のお役に立てる「素敵な」活動です。
みなさんもぜひ一緒に「どりーまあ」でふれあい活動に参加してみませんか。

あなたは眠れていますか？ 「2週間以上続く不眠」はこころの不調のサイン

徳島保健所健康増進担当 佐藤ふさよ

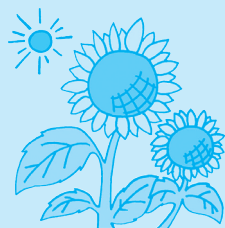


日本は、世界的に見ても、睡眠時間が少ない国のひとつだそうです。

我々は、睡眠時間を削ってまで頑張るといふような「眠らないこと」を美德として睡眠をとることをあまり重要視しない傾向があります（私もそうですが）。しかし、最近短すぎる睡眠時間が健康によくないことがわかってきました。

疲れているのに眠れない！「2週間以上続く不眠」はこころの不調のサインです。このほか「全身がだるい」「食欲がない」など、不調を感じたら医療機関や精神保健福祉センター、保健所へ御相談ください。家庭や職場でも、気になる人にはまず、「眠れている？」の声をかけを！

徳島保健所（088-602-8905）



在宅で生活援助の
キーパーソンである
ホームヘルプサービス
はいつの時代も大切な
存在です。
今回もフレッシュな
元気いっぱいヘル
パーさんたちを紹介
します。



介 護

**ヘルパーステーション
たすけあい**

ホームヘルパー

泉 侑羽子

輝

ヘルパーを始め
て3ヶ月目の21歳
新人です。
「先輩た
ちをみてい
るとときば
きっていて
気持ちいい
です。自分
も早くあ
なりた
いと思
い、今
は毎日
が元
気い
っぱい
。3年

**介護福祉士を
目指します！**

後には介護
福祉士国家
資格に挑戦
してみたい
そう
です。
そんな
泉さんが
担当させ
てもらっ
ているご利用者の石田様からの
評価は、孫のような人なので毎
日いろいろな事を教えていますよ、
と目を細められます。
将来の成長に乞うご期待！



希 望

毎日の出会いが勉強！

3月から「たすけあい」でホー
ムヘルパーとして働かせていた
だいています。入社してまだ3
ヶ月しか経ってませんが、あ
っという間に過ぎたようにも思
えるし、長かったようにも感じま
す。大切な利用者さん宅へ向
かう時の緊張感や一人おひとり
と向きあって援助させていた
だく中で、気づきや学ぶこと等が
毎日必ず出来事として起こっ
ているからこそだと思います。ま
た「あれでよかったかな！」と
か毎日振り返ったりもします。
未熟な私ですが、受け入れて

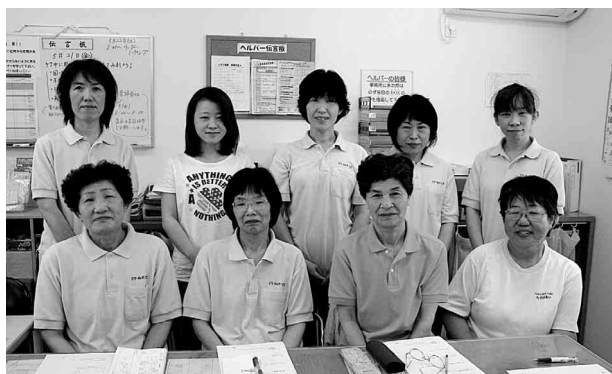
ホームヘルパー

山田由美子



**先輩方に早く
追いつきたいです。**

くださる利用者さんからの役に立ち、思
いに応えていきたいです。そしてまた熱
い
想
い
と
高
い
志
を
も
た
れ
た
先
輩
方
に
、
一
日
で
も
早
く
追
い
つ
く
よ
う
に
頑
張
っ
て
い
き
ま
す
の
で
、
こ
れ
か
ら
も
よ
ろ
し
く
お
願
い
し
ま
す。



40名近い《ヘルパーステーションたすけあい》チームを中堅スタッフとして引っばっている“リーダーヘルパー”です。

「まだまだ若手には負けられん！」とがんばってます。

看護

どリーまあ 訪問介護 ステーション



理学療法士

平野 康之

宅リハビリの仕事を
していたそうで、緑
あつて徳島へ移って
きました。週1回、
どリーまあ訪問看護
STからの訪問リ
ハビリで活躍中
です。

4月から徳島文
理大学理学療法科
で教鞭をと
られること
になった理
学療法士の
平野康之さ
んです。そ
れまでは神
奈川県で在

生きる力



益々多様化してくる地域医療現場におい
て、訪問看護師の役割はなくてはならない
存在ですが、在宅での訪問看護ステーショ
ンでは看護師だけでなく、リハビリスター
フも重要なポジションで活躍しています。
様々な職種の活動現場をご紹介します。

「やっていこうとするリハを 利用者さんにわかりやすく 伝えていきたい」



表情こそ穏やかなお人柄ですが、こ
とリハビリに関しては筋金入りの「赤
ひげPT」です。

リハビリは オーダーメイドで！

ご本人のモットーは「自分たちがや
ろうとしていることを明確にわかりや
すく利用者さんにお伝えし、過程を共
有できるリハビリ」だそうです。

豆知識

プライマリー・ ヘルス・ケア

プライマリー・ヘルス・
ケア（PHC）とは、すべて
の人にとって健康を基本的
な人権として認め、その達
成の過程において住民の主
体的な参加や自己決定権を
保障する理念です。PHC
は「すべての人々に健康
を」の目標達成の鍵として
WHO加盟国によって承認
されました。

微力ではありますが、
創意と工夫を凝らした
温かい訪問看護ステ
ーションでありつづけた
いと願っています。



Expert

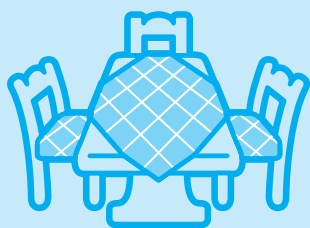
看護の道



所長 関本 敦子

私が訪問看護に携わり、早や1年半が
経過しました。諸先輩方や同僚の温かい
協力のおかげでようやくここまでたどり
着けたと、感謝しています。そして何よ
り生命の尊さを教えてくれるご利用者様、特に子供た
ちの澄んだ瞳に出会えること、そしてその瞳に込める
べく努力を重ねるご家族に囲まれた在宅で、私たちの
療養看護がご提供できることをとても誇りに思ってい
ます。本当にありがとうございます。

私の訪問看護の理念は、常にやさしい心を持ち、人
としての尊厳を守り、利用者様本位のサービスを提供
すること、そのためには専門的な知識と技術の向上
に努めることです。



昨年4月に立ち上げたばかりの「デイサービスセンター夢ハウス」です。
小規模のよさをうまく引き出して、文字通りの夢のある空間に育ててくれているのは他ならぬ主役である利用者さんたちです。

通所介護

デイサービスセンター
夢ハウス

「夢ハウス」開所初日から 利用される平井さん。 誕生祝いに感極まる！

夢ハウスではご利用者さんの誕生日にみんなで祝福するセレモニーを行っています。
ちょうど、この日6月14日に誕生日を迎えられる平井之男様のお誕生祝いをさ

誕生日はその人にとってはかけがえのない年に1回の記念日です。



本当の意味で「第二のふるさと」を目指して！！

せていただきました。今年で81歳を迎えられた平井さんですが、夢ハウス開所初日からのご利用者さんで、いわば「生みの親」的存在の方です。今後もうこういったすばらしいおつきあいが多くの方々と続けられま

すように頑張つてまいります。



機能訓練



「活かしきれない機能が
回復することはご本人の
喜びにつながります。」

平成19年からどリーまあ訪問看護ステーションに所属し、在宅リハビリに活躍していた理学療法士の浅香京子

あきらめない♡

理学療法士
浅香 京子

さんですが、今年3月より週3回のデイサービスでのリハビリ部門も担当するようになりました。利用者さんたちからは、「キレイな先生」と評判でご本人もまんざらでもなさそうですが、リハビリの腕前も抜群です。



ケア マネジメント

どリーまあ
徳島



まず自分が
変わり、次に
隣人が変わ
り、組織が変
わり、社会が
変わる。古人
の言葉を胸
に、一步一步
努力し成長し
ていきたいと
思います。

全力を尽くします。

どリーまあの未来に

毎日が初心です。

はじめまして。この4月から「どリーまあ」のケアマネージャーとして働くことになった福本です。これまでも福祉にはかかわってきましたが、ケアマネージャーとしての経験はなく、手探りしな

がら日々新しい発見と反省、そして感動の毎日です。利用者様たちのお話を聞いた、人生に触れる機会があったり、またどのような支援ができるのかを考え、行動することで、自身も変わり、学びとなっていることも実感します。



ケアマネージャー

福本 誠司



丈六教室始動！



丈六地区の体操教室が本年2月からスタートをきりました。丈六団地に住む人たちが中心となつて参加の呼びかけにご協力いた

介護
予防

元気高齢者
づくり事業

～体操前のウォーキングで
チームづくり～

がすでにできています。また本教室では男性の参加者が多く、女性パワーに負けじと健康づくりに余念がありません。『どリーまあ』として丈六地区を

丈六魂で熱気ムンムン!!

含めて徳島市内で6地区の教室を受け持たせていただくことになりましたが、どの地区も熱心な参加者の人たちのおかげで指導員さんや看護師さんたちも益々力が入ってきているようです。

だいたところ、すでに30名あまりの登録があり、活気に満ちあふれています。本教室は丈六コミュニティセンターの中の広い体育館をお借りして開催しておりますが、毎回受付の終わった人から順に、次々と体育館内をウォーキングするリズム





みなさんのまちで
もぜひサロンを開
いてみて下さい

お問い合わせ
(088) 626-3237

担当 青山・西川

徳島市サロン “なごみ”



サロン

なごみ

時代を担う

平成21年
11月、地域
の皆さんが
ふれあい支え合いな
がら、生きがいを
持つて健康に暮らす
：そんなサロンを目
指して徳島市富田地
区にて産声を上げた
サロン『なごみ』。

支援から交流へ



加者、ボランティアも
出来、皆さんの『なご
み』への想いも深くな
り、毎週、家庭的な温かい時間を
一緒に過ごしています。秋には、共
同作品展を企画しています。

しんでいま
す。固定の参
加者、ボラン
ティアも

会、生け花、作品づく
り、クイズ、季節の行
事、上映会、食事を、
体操などを楽
しんでいます。

あつたかい空間が
ここちよさです！



<平成22年度事業計画>

(1)新地域事業展開について

各市町村、地域包括支援セン
ター、社会福祉協議会、地域役
員等と連携をとり事業を展開し
ていく

- ①小松島市
- ②那賀町
- ③鳴門市
- ④富田地区 参加者拡大、ボ
ランティア育成を図る
- ⑤平成23年度サロン立ち上げ
に関する活動
県西部、県南部、県北部等
の拠点づくり、及び開催

(2)ボランティア育成活動

- ①養成講座修了者との懇談
- ②各開催地区ボランティアと
の連携
2月『とくしまサロンサ
ミット (仮称)』の開催
- ③参加者への啓発

富田地区小地域交流サロン参加者の声 (アンケート結果)

アンケート実施日：平成22年2月3日・17日・24日 有効回答数：26人

参加のきっかけについて

- ① スタッフに誘われて…64%
- ② 民生委員に誘われて…28%
- ③ 地域の広告等をみて…8%

参加しての感想

- ・歩いていけることがうれしい
- ・外出する機会ができた
- ・参加費に比して内容が充実している
- ・仲間が増えた
- ・会話する機会ができた、増えた
- ・季節を感じる機会が持てた

何か手伝えることが
あれば手伝いたい

同一体験を共有する
ことで心が和んだ

皆と一緒にする体
操は身体も心も
すっきりした

サロンの効果について

- ①参加者
 - ・参加することが楽しみとなり生活に張りができた
 - ・会話を楽しむことでストレス発散できる
 - ・参加者同士の地域内での連帯感が強くなっている
- ②運営
 - ・参加有無の確認により安否確認ができる
 - ・ボランティア参加が定期的により会の進行や配茶、片づけ等を自主的
に行う場面が見え始めた
- ③地域住民
 - ・地域福祉、介護予防を考えるきっかけとなった

「小地域交流サロン」 ボランティア養成講座

盛大に
開講！

平成22年3月4日(木)
於：徳島県立総合福祉センター

サロン立ち上げに
県内から続々と参加

小地域交流サロン

これからの時代、身近な地域での支援の適切な組み合わせによる総合的なサポート体制の確立が求められている。「小地域交流サロン」がそうした住民の支援の組織化や調整の場としての役割を担い、厚生労働省の「21世紀ビジョン」でもうたわれている「サロン」が組織され実施されていくなれば、住民の誰もがいつまでも安心して住み続けることのできる健康で生きがいに満ちたまちづくりを展望できるようになるだろう。



講義Ⅰ 『いきいきサロンとボランティア活動』

日開野 博 先生

(四国大学短期大学部)

生活科学科会議福祉専攻 教授

講義Ⅱ 『いきいきサロン事例報告』

～県内での実践的取り組みの紹介～

佐和 良佳 先生

(美馬市社会福祉協議会 局長)

講義Ⅲ 『これからの介護予防』

～いつでもどこでもできる備え～

鶯 春夫 先生

(うぐいすりハビリ研究所長)

胎 動

小地域交流サロンは、地域住民の自主運営を目的としており、サロン立ち上げ、普及にはボランティアは



熱 気

重要な役割となります。

そこで、サロン主旨に共感する住民の発掘・育成を目的としてボランティア養成講座を開催しました。

当日は県内7市町村より62名の参加があり、日開野、鶯両先生による講義、佐和先生の事例報告、そしてグループワークと、じっくりと「サロン」と「ボランティア」について考える熱い一日となりました。



グループディスカッションで熱く語り合う参加者たち

「特定高齢者の 予防体操」

徳島文理大学
保健福祉学部
リハビリ学科

講師：鷺 春夫 先生

平成22年6月24日(木)

於：アスティ徳島

民間事業所合同研修会

躍進

介護の志士たち スキルアップ講座に集う!!



接遇マナー研修

講師 カラーコーディネーター
福永由里子 先生

平成22年5月14日(金)

於：県民活動プラザ

内部 研修

接遇マナー

この度「接遇マナー研修」を福永由里子先生を講師としてお招きして実施いたしました。年度末に所内でスタッフ全員からどういった研修会を受けたいかのアンケート調査を行っておりますが、毎年「人気講座」として定着しつつあります。

今回の先生のお話からは「接遇の5原則」として、①服装、②挨拶、③態度、④表情、⑤言葉使い、といったお話を詳しくしていただきました。また「色彩」のもつ意味についても触れら

「接遇の基本は日常生活から」



あつという間に過ぎてしまいます。本研修会を機に自分を見直し自分自身をコントロールしながら毎日の訪問を大切にしていきたいです。

「色彩」の印象を学ぶ

れ、「白」は第一印象をよくする色であり、また「赤」は勇気が出る色だそうです。

いつも先生の講義では、参加した職員はくぎづけになり、一言一言でやわらかい雰囲気包みこまれ、時間が

(報告者)

介護福祉士 松本 友紀

うぐいす節に リハビリ意欲 がきたてられる

名が参加され、勉強会の仲間が増えて喜ばしい限りです。今回は鷺春夫先生によるリハビリ研修でした。普段現場で



援助する私たちに対しての健康づくりをテーマに、運動力学的な講義から始まり、リハビリ体操や腰痛予防の方法などを、詳しくかつ楽しく教えていただき、参加された皆さんが元氣になれた講義でした。

(報告者)

介護福祉士 正地 輝美

平成22年度 どりーまあ研修計画

平成22年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年
	職業倫理 「ブライバシー保護と法令遵守」 接遇マナー「ビジネスマナー研修」 合同研修《リハビリセミナー》 「介護予防と機能訓練」 避難訓練 事故発生時の緊急時対応 「ヒヤリハット事例から学ぶ」 小児看護 パソコンセミナー「エクセル技術」 合同研修《認知症研修》 「精神医療セミナー」 交通安全、障害者移送 薬と副作用「薬の基本的知識を学ぶ」 呼吸リハビリ ターミナルケア「看取りと緩和ケア」 アクティビティ講座 言語・嚥下・口腔ケア 「介護職が行う口腔ケアの役割」 リンパマッサージ パソコンセミナー「ワードのうら技」 福祉器具の有効利用方法									特定疾患、社会保障制度について 「小児、難病、障害者」 会議の進め方「準備と調整」 県外研修伝達講習会 疾病と特徴

鍛錬

本年度の「どりーまあ研修計画」です。今年も現場で生かされるよう研修会を通して知識や技術の基礎体力を蓄えていきます。

外部研修

平成22年度包括的継続的ケアマネジメント事業 介護支援専門員・介護保険関係者 研修会

講義 パーキンソン病について考える ～症状と公的支援制度～
講師 脳神経外科医 七條 文雄 先生
とき 平成22年 5月23日 ところ 小松島市社会福祉協議会

報告者

どりーまあ徳島

介護支援専門員 湊川千恵子

小松島市地域包括支

援センター主催で介護

支援専門員研修会が毎

年開催されております

が、今回は講師として

脳外科医の七条文雄先

生によるパーキンソン

病に関する医療セミ

ナーに参加いたしました

のでご報告いたしま

す。

パーキンソン病と

は、1817年イギリ

スのジェームズパーキ

ンソンによって初めて

症状が報告され、一種

の老化現象であり、神

経伝達物質であるドー

パミン量が正常の20%

以下になると症状が出

現し、一生共存してい

く必要がある病です。

様々な大脳基底核が互

いに連結し、細かな運

動を調整する錐体外路

系の結合に支障をきた

すようです。

男女差は女性が多いそう

ですが、女性の高齢者が多

いたためかもしれないとの七

条先生からのコメントでし

た。また加齢と共に増加傾

向であるが、寿命が短くな

ることはないそうです。本

疾患の四大症状として、「振

戦」、「固縮」、「無動」、「姿

勢反射障害」などがあり、

また特定疾患に認定され、

Hoehn-Yahrの重

症度分類ステージ3以上、

生活機能障害度2度または

3度の診断を受けると、薬

剤費や訪問看護費の自己負

担はないそうです。

ここ最近、難病といわれ

るパーキンソン病に思っ

ている人にかかわることが多

いが、様々な症状がある

中、その人のことが少しで

も理解ができ、前向きに支

援していきたいと思いまし

た。

新任管理者研修会

(とき：平成22年 6月12日 ところ：東京全社連研修センター)
主催：全国訪問看護事業協会

新任管理者研修会に参加して

どりーまあ訪問看護ステーション

所長 関本 敦子

この度新しくどりーまあ訪問看護ステーションの管理者として就任したこと、本研修会へ参加させていただきました。

本研修会の対象者は管理者経験2年未満及び起業者などでしたが、研修の目的としては訪問看護ステーションの管理に関する概論

や実務的な内容の習得でした。講師は、実際に現場の管理者として活躍されている島根県原田訪問看護セン

ター代表の原田典子先生でした。

内容としてまず、本年度に診療報酬改定があつたことから、①特定施設

への訪問に関するこ

と、重傷管理加算、ター

ミナルケア加算、退院支

援指導加算といったこと

に関して説明がありまし

た。

また、管理者として不可欠である看護理念、サービスの質的管理やスタッフ教育のあり方などについても学び、自分の目標がはっきりすること、みんなが同じ方向に向いて進んでいけることの重要性を再認識しました。

これからは本研修会で学んだことが現場で活かせられるよう努力し、地域から選んでもらえるステーションを目指して、一つひとつをクリアしていきたいと思

いますので、皆様からのご指導をよろしく願います。





リゾナンスプラン

どリーまあサービス5 年計画

《2007年～2012年》



ビジョン

1. 高齢社会への挑戦
2. 難病患者さんの在宅支援体制
3. 障害児を守る後方支援組織づくり
4. 地域住民との横断的役割



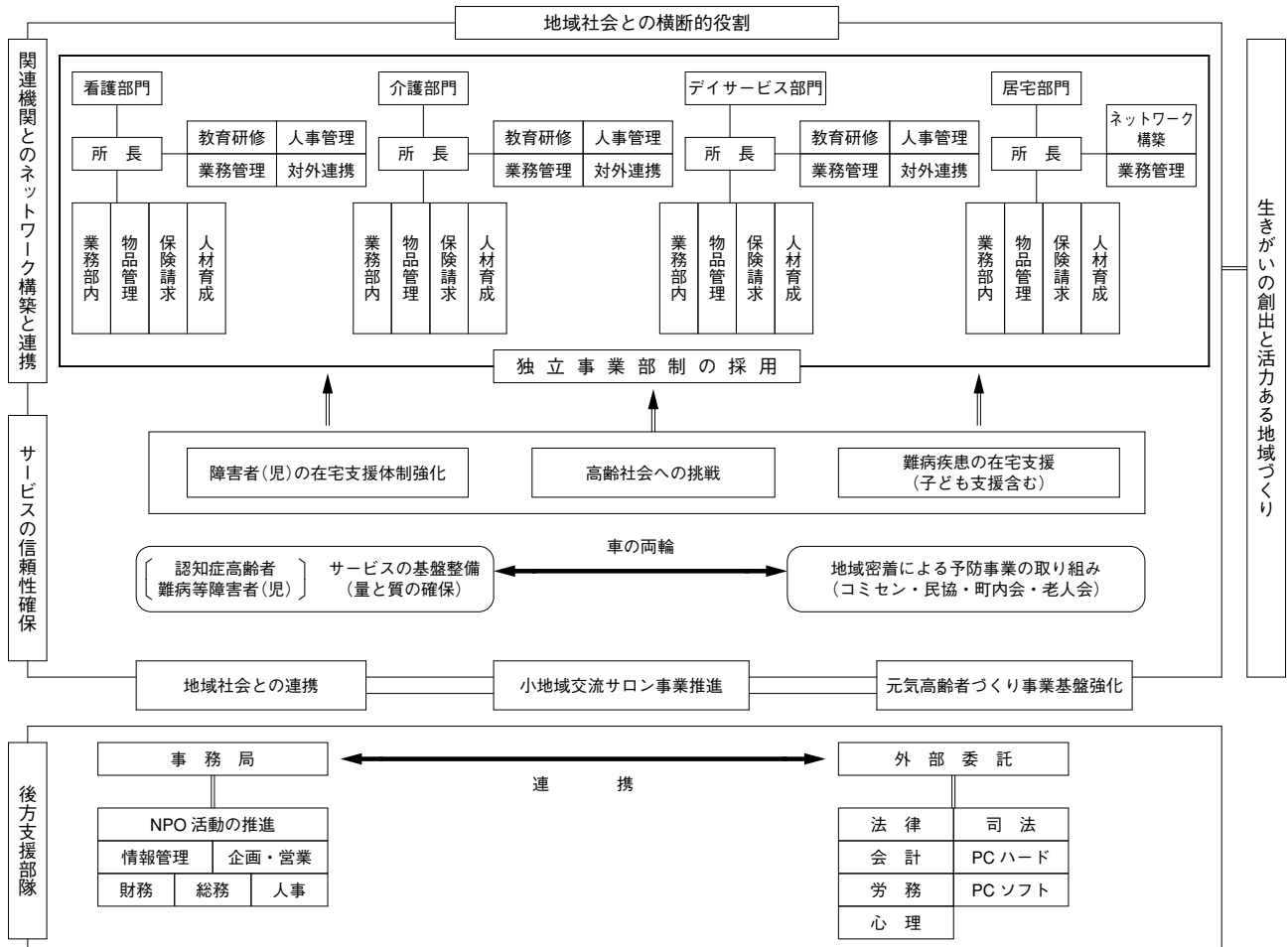
具体的施策

1. 組織基盤の整備と充実
2. 認知症高齢者支援体制の強化
3. 小児障害児の支援体制の充実
4. 元気高齢者づくり事業の啓発と実践
5. 利用者の権利擁護とサービスの育成
6. 地域社会との連携強化
7. 独立採算事業部制の推進

理念

助け合いの精神に基づき、受け手と担い手との対等な関係を保ちながらサービス活動を行い、健康で安心して暮らしていけることができるよう、活力ある地域づくりに貢献する。

《エグゼクティブ・サマリー》



平成22年度 法人理事会資料より抜粋

はじめに

NPO が施行されて11年目を迎えるが、全国的には団体数も4万団体を超えると言われている。平成7年に勃発した阪神大震災を契機に制度施行に拍車がかかりこれまで進んできたが、中でも全体の約7割は福祉系NPOであることに変わりはない。しかし、中には人材不足や資金難に苦しみ解散に追い込まれている団体も後を絶たない現実もある。それに対し、地域社会はますます複雑化してきており、住民から求められるNPOへの期待はますます高まっている。

今後も活動を通して地域に貢献していけるためにも、人材の確保と育成、組織体制の見直し、ネットワークの更なる構築等、課題はつきないが、地道に一步一步足元を固めていかねばならないと考える。



平成22年度事業計画書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

事業実施の方針

(一)人材育成

- ① 新人職員の育成プログラムの構築と実践
- ② 中堅職員のリーダーシップ強化
- ③ 職員のメンタルケアの取り組み
- ④ 組織内の連携強化

(二)組織再編

機動的かつ最適な意思決定を行う経営体制を確立することを目的に、グループ向け事業とグループ外のご利用者様や関係機関向け事業との2つの柱を確率させる。

①グループ向け事業

グループ内の連携を一層強化し拡大する業務ニーズに効率的に対応できる体制づくり

②グループ外に向けた事業

これまで以上にご利用者様のニーズに迅速に対応でき、顧客満足度の高いサービス提供が実現するための体制づくり

以上のように今後も時代に即した人材育成や組織の見直しをはかることで、地域から継続して信頼していただけるような取り組みを進めていきたい。

活動報告

対外活動

- 4/7 介護支援専門員協会理事会
(於：県立総合福祉センター 山口出席)
- 4/26 ホップス総会 (山口参加)
- 5/13 県社会福祉士会相談活動委員会議 (於：どりーま夢ハウス)
- 5/14 高次脳機能障害家族会定例会議
(於：障害者交流プラザ 山口出席)
- 5/16 徳島連携医療うずの会総会及び学習会
(於：徳島市医師会館 山口参加)
- 5/17 介護支援専門員協会運営委員会議
(於：どりーま夢ハウス 山口出席)
- 5/20 県社会福祉士会理事会 (於：県立総合福祉センター 山口出席)
- 5/29 介護支援専門員協会総会&記念講演会
(於：アスティ徳島 山口出席)
- 5/30 「死の臨床研究中四国大会」
(於：徳島大学長井記念ホール 山口参加)
- 5/30 県社会福祉士会総会
(於：県立文化の森総合公園21世紀館 山口出席)
- 6/10 県社会福祉士会相談活動委員会事例検討学習会
(於：県立総合福祉センター 山口参加)
- 6/22 徳島市地域包括支援センター運営協議会
(於：徳島市医師会館 山口出席)

内部研修

- 4/23 どりーま職員研修会「職業倫理と法令遵守」
(講師：理事長山口 於：県民活動プラザ)
- 5/14 どりーま職員研修会「接遇マナー研修」
(講師：カラーコーディネーター福永由里子先生 於：県民活動プラザ)
- 6/24 民間看護・介護事業所合同研修会
「特定高齢者の予防体操とケアスタッフへの腰痛予防」
(講師：鶯春夫先生 於：ふれあい健康館)

外部研修

- 4/12 あわぎんビジネスカレッジ (山口出席)
「いかにして自分の夢を実現するか」
(講師：タック川本 於：油屋美馬館)
- 6/8 「がん患者の生活支援教室」(於：徳島大学病院 山口参加)
- 6/11 徳島法人会青年部研修会
「町工場の底力！～ない知恵も使えば出てくる～」(山口参加)

- 6/15 「がん患者の生活支援教室」(於：徳島大学病院 山口参加)
- 6/22 「がん患者の生活支援教室」(於：徳島大学病院 山口参加)
- 6/25 医療相談支援センター講習会「抗ガン剤治療と地域連携バス」
(於：徳島赤十字病院 福本・櫻木出席)
- 6/29 「がん患者の生活支援教室」(於：徳島大学病院 山口参加)

外部会議

- 5/19 徳島県訪問看護連絡協議会役員総会
(於：徳島市医師会館 山口出席)
- 5/19 徳島県がん診療連携協議会診療連携部会傍聴
(於：徳島大学病院 山口出席)
- 5/25 NICU 入院児退院前合同カンファレンス
(於：徳島大学病院 山口 関本出席)
- 5/25 ALS 患者退院前カンファレンス (於：某病院 山口出席)

サロン

- 6/8 那賀町サロン活動立ち上げ打ち合わせミーティング
(於：那賀町包括支援センター 山口参加)
- 6/22 小松島市交流サロン開所式 (於：小松島市江田公会堂)
- 6/26 那賀町交流サロン打ち合わせ会議
(於：那賀町包括支援センター 山口・青山参加)

内部会議

- 5/27 どりーま委員会委員長会議 (於：どりーま会議室)

講義

- 5/20 難病ヘルパー養成講座 (於：県立総合福祉センター)
- 6/16 全身性ガイドヘルパー養成講座 (於：障害者交流プラザ)

その他

- 4/3 清掃奉仕作業
- 4/19 末広町内会役員会 (於：どりーま夢ハウス)
- 5/17 日本赤十字社徳島支部表彰式 (於：徳島県庁 山口出席)
- 5/27 県立看護専門学校実習生オリエンテーション
- 6/2 朝日新聞者取材
- 6/5 清掃奉仕作業
- 6/25 事業者集団指導 (於：県立総合教育センター 山口出席)

法人理事会

- 5/26 どりーま法人理事会及び社員総会

委員会活動のご紹介

本年度よりスタッフの自主的活動として各種委員会が立ち上がりました。活発な委員会活動が今後のどりーまの起爆剤になってくれそうです。まずは委員会の主な面々をご紹介します。

研修委員会

- 委員長 松本 友紀 (介護)
- 副委員長 湊川千恵子 (ケアマネ)

広報委員会

- 委員長 櫻本 庸平 (デイ)
- 副委員長 岡田 恵子 (事務)

感染予防委員会

- 委員長 関本 敦子 (看護)
- 副委員長 山口 浩子 (介護)

リスク管理委員会

- 委員長 青山 美穂 (サロン)
- 副委員長 高橋 憲恵 (看護)

環境改善委員会

- 委員長 福本 誠司 (ケアマネ)
- 副委員長 山野亜紀子 (ケアマネ)